

令和

4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	こにちは赤ちゃん事業	会計名称 予算科目	一般会計 3 款 2 項 1 目	事業番号	1541	担当課 所属長名	子育て支援課 太森真喜恵	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	大野舞	
法令根拠等	子ども・子育て支援法					実施期間 【開始】	令和／平成 20 年度	
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 次代を担う子どもたちの育成支援					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために、次代を担う子供たちの育成支援を推進した。							
事業の対象	生後 4か月までの乳児をもつ家庭	事業の目的	すべての乳児がいる家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対して行われることを目的とする。					
事業の内容 (整備内容)	対象児童が生後 4か月を迎えるまでの間に、訪問を実施。※新生児訪問事業（保健センター実施）の実施を含む。	昨年度の課題に対する具体的な改善策						

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績	
直 接 事 業 費	283	477	0	0	0	292	訪問児童数	人	163	170	54	148	
国 庫 支 出 金	94	159	0	0	0	97							
県 支 出 金	94	159	0	0	0	97							
地 方 債	0	0	0	0	0	0							
そ の 他	0	0	0	0	0	0							
一 般 財 源	95	159	0	0	0	98							
職員の人工（にんく）数	0.10	0.10				0.10	訪問率	%	90	100	59	90	
1人工当たりの入件費単価	7,841	7,794				7,794							
※ 直接事業費+入件費	1,067	1,256				1,071							
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）											
向こう 5年間の直接事業費の推移 (千円)							5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計	
成 果 指 標	指 標	訪問率					477	477	477	477	477	2,385	
							単位	区分年度 目標 実績	前 年 度	4 年 度	5 年 度	目標	毎 年 度
	指標設定の考え方	生後 4か月までの乳児をもつ家庭をすべて訪問することを目的としている。					%		100	100	100	100	
							⇒		90	90			
指標で表せない効果													

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		全国的な少子化傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、更に出生数が減少している。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	必要時、関係機関と情報共有しながら実施することができた。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、思うような訪問活動ができなかった。		
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	4						
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 国の示す事業であり、子育て支援のため、今後も継続の必要がある。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだ事業費・人件費の削減余地がある。	4						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4				関係機関と連携を深め、今後も情報共有を図り、事業を推進する必要がある。		
評価	一次判定（所属長）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的に沿った事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識			
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	3						
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性			
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 定期的な訪問等により、心身状況や養育環境を把握し助言する等適正な子育て環境の構築に必要に応じて伴走し、支援する事業として、コロナ後の新たな生活様式を踏まえ諸課題の解決を図りながらの展開を図る。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議 の 議 事	事業の方向性 <table border="1" style="width: 100px; margin-bottom: 10px;"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>さらに重点化する。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>現状のまま継続する。</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>見直しの上、継続する。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。</td></tr> </table> コメント欄 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。
		<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。								
		<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。								
		<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。								
		<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。								
		<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。								